

金沢大学医学類特別枠医師のキャリア形成プログラムについて

1. これまでの状況

○県は、国の方針を踏まえつつ、「石川県地域医療支援協議会」における検討を踏まえ、**キャリア形成プログラム**を策定

○診療科ごとのプログラムは、金大病院の各診療科と県で協議し、個別に策定

- ・原則、3年目は能登北部で内科・総合診療科に従事
- ・能登北部から専門医の配置要請のある診療科は、専門研修を前倒し
→原則、7年目に能登北部に勤務
- ・少なくとも4年間は医師不足地域に勤務

①内科（例示）

3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目
能登北部	医療センター	金大	能登北部以外	能登北部		
内科	内科	内科	内科	内科	内科	内科

②小児科（例示）

3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目
能登北部	能登北部以外	中病	金大	能登北部		
総合診療	小児科	小児科	小児科	小児科	小児科	小児科

③精神科（例示）

3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目
能登北部	高病	金大	能登北部以外	能登北部		
総合診療	精神科	精神科	精神科	精神科	精神科	精神科

④整形外科（例示）

3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目
能登北部	能登北部以外	金大	中病	能登北部		
総合診療	整形	整形	整形	整形	整形	整形

（指定医療機関）

3次病院	金大病院、医科大病院、県立中央病院、県立高松病院、金沢医療センター
能登北部	輪島病院、珠洲病院、宇出津病院、穴水病院
能登中部	能登総合病院、羽咋病院、富来病院、宝達志水病院
石川中央	金沢市立病院、松任中央病院、つるぎ病院、河北中央病院
南加賀	小松市民病院、加賀市医療センター、能美市立病院

注）医師不足地域は、能登北部医療圏、能登中部医療圏、南加賀医療圏

（勤務先）

区分	診療科別医師数	H29	H30	H31
能登北部	医師数（計）	4	7	9
	内科	4	7	7
	総合診療	—	—	2
専門研修	医師数（計）	—	4	11
	内科	—	3	8
	小児科	—	1	1
	精神科	—	—	1
	麻酔科	—	—	1

2. 検討課題

（1）医師不足診療科

○産婦人科など能登北部から強い派遣要望があり、医師数も減少している診療科では、事情が許せば、3次病院の専門研修後に能登北部勤務を調整する。

《医師不足診療科》 産婦人科、外科、脳神経外科 →減少傾向（H14-H28）
小児科 →若干増加（H14-H28）
麻酔科 →増加傾向（H14-H28）

（例）

3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目
金大	中病	能登北部以外	能登北部	能登北部		
不足診療科	不足診療科	不足診療科	不足診療科	不足診療科	不足診療科	不足診療科

（2）派遣希望の少ない診療科

○勤務先の候補が限られた診療科では、希望者が続いた場合など、修学資金の返還免除のための勤務が困難になるおそれがある。

○当該診療科を希望する医師と医局には、こうした状況を説明し、少なくとも2-3年間は内科や総合診療科に従事する可能性があることを説明する。